

安全安心な自転車通学のために



### 自転車保険



問 自転車での交通事故数は、2014年度には全国で12万1000件、交通事故総数の約2割を占めています。また、1億円近い賠償金の支払請求を受けた児童生徒の事例が兵庫県で起きました。児童生徒が自転車事故を起こしたときは、保護者が賠償責任をとることになります。自転車事故には、公的救済措置はなく、民間の保険会社での対処となります。以上のことから、児童生徒の自転車保険は、町で対応する必要があると思います。県内では、越生町が中学生を対象に、また杉戸町では小中学生を対象に町が自転車保険に一括加入していますが、当町での考えを伺います。

答 ご指摘のとおり、自転車事故の加害者となり、多額の賠償責任が生じる事例が発生し、自転車保険の関心度が高まっていることは、認識しています。そのため、まずは保護者が自転車保険の必要性を理解し、自分のこととして保険に加入してもらうことが大切だと考えています。また、他の自治体の実態を調査し、研究していきます。

### 事故の加害者への心のケアは

問 当町の児童生徒が、自転車事故の加害者になってしまったとき、児童生徒の精神的ショックは大変なものがあり、心のケアが必要になると思いますが、町の考えを伺います。

答 心のケアが必要な児童生徒に対しては、学校に臨床心理士やスクールカウンセラーを派遣し、カウンセリングをする中で、心のケアを図っていきたくと考えています。



### 児童生徒の自転車事故保険の加入対応は

答 保護者が重要性を理解し、加入してほしい

Yasuo Tsukui

【とほ】(\*5) アクティブラーニング…「能動的な学習」をいいます。課題研究やディスカッション、プレゼンテーション、グループワークなど、学生の能動的な学習を取り込んだ授業を総称する用語です。

みねぎし かつあき 議員



### 全国学力学習状況調査、町の目標値は

答 設問の半数以上で全国平均を上回りたい

Katsuaki Minegishi

問 平成27年度の全国学力学習状況調査の結果、埼玉県では全ての調査科目で全国平均を下回り、全国41位という結果でした。寄居町は、その県平均を中学校の1科目については上回っているものの、その他の科目では全て県平均を下回っています。学校別に見ても、全ての科目で全国平均を上回った小学校が1校あったものの、小中学校6校では全ての科目で全国平均を下回っています。この現状をどう捉え、改善してゆくの伺います。

答 学力低下の問題を大変重く受け止めています。今年度、小学校では全73問中6問、中学校では全119問中19問のみで正答率が全国平均を上回るという状況でした。これを次年度は小中学校とも全設問の50%で全国平均を上回ることを目標として取り組んでいきます。

問 学力向上のための改善策について伺います。

答 教師のレベルアップ、授業の改善と家庭学習の充実に重点を置いています。また、補充学習の充実も研究しています。現在、アクティブラーニング(\*5)を取り入れて徐々に成果が出始めています。

### 教育レベルを高め、魅力ある町に

問 「教育レベルの高い町」は、魅力ある町の大きな要素ですが、見解を伺います。

答 子どもたちの学力を向上させ、良好な子育て環境を求めるファミリー層に「選ばれる町」となるよう、教育の充実を図っていきます。



子どもたちに確かな学力を

【とほ】(\*5) アクティブラーニング…「能動的な学習」をいいます。課題研究やディスカッション、プレゼンテーション、グループワークなど、学生の能動的な学習を取り込んだ授業を総称する用語です。

介護施設運営に欠かせない人材の育成



### 介護保険



問 安倍政権は、新戦力3本の矢の1本として「介護離職ゼロ」と掲げました。一方でこの4月より介護報酬の大幅引き下げを行い、施設の運営に困難を来し、廃園する施設も生まれています。当町の各施設の現況、また特老ホームで宿泊担当職員が一斉に退職する事態、職員が定職しないことについて伺います。

答 各施設の現況は把握していません。どの施設でも職員の増減はあるようですが、働きがいのある仕事として就職しても、職場の人間関係や施設の理念、運営のあり方などの不満で退職するためと考えます。

問 定職しない大きな理由は賃金が安いからです。ほかの職種より月10万円の格差、養成学校も定員割れで廃校になるところもあり、町を挙げて介護職員の確保に取り組んでいる自治体もあります。この問題について、町の考えを伺います。

答 人材の育成は必要ですが、町独自の補助等は考えていません。

### 新たな包括支援センターは

問 要支援1・2の人は、自治体の包括支援センター扱いになります。川北の包括支援センターは決定したのか伺います。

答 359人の要支援認定者のうち101名の要支援1・2の人は今までと同じ支援を受け、費用も変わらないと考えます。川北の包括支援センターには、埼玉よりい病院が決定しました。

問 認知症対策についてどう考えますか。

答 認知症予防スクリーニングシステム(\*4)の導入、予防教室の開催を考えています。

### 介護報酬の引き下げ どうなる介護保険

答 大里広域市町村圏組合と連携して研究します



Setsuko Tamogami

【とほ】(\*4) 認知症予防スクリーニングシステム…物忘れを訴える受診者に対して、認知症の疑いがあるかをテストするシステムです。ただし、詳しい診断は、医師による診察や、その他の精密な検査の結果をもとに行われます。

### 直売所の施設整備 加工所等の併設は

答 農産物加工施設の運営を見直し中です



Hiroshi Osawa

問 自然と産業が調和する町にするには、農業の活性化が重要ですが、農業を取り巻く環境は厳しく、耕作放棄地の増加、害獣の被害も増えています。また、TPP合意による将来への不安もあります。町の農業政策を伺います。また、農業活性化には、農産物の地産地消は欠かせません。町内にはJA直売所が3カ所ありますが、販売のみです。食堂、食品加工所等を併設する道の駅のような施設整備について、町の考えを伺います。

答 現在、農業の活性化を図るため農産物加工施設の運営方法等の見直しを行っているところですので、道の駅のような施設の整備は考えていません。

### イノシシ被害、町の対応は

問 イノシシの出没が多く、不安が町内で広まっています。農産物の被害もあり、対策を求める要望書も出されています。町の対応を伺います。

答 猟友会へ有害鳥獣駆除の委託を行っていますが、連携を強化し、被害の抑制を図りたいと考えています。また、農産物の被害を抑制するには、農地所有者の管理も重要で、防護用電気柵の購入補助のほか、農地と放置された農作物の適正管理のPRを充実させていきます。

問 従来のやり方では被害を食い止められません。男衾地区全区長連名の要望書が出されています。協議会、委員会等を立ち上げて抜本的対策をしないとさらに被害が増大するので、町の対応を伺います。

答 安全・安心が非常に重要です。抜本的対策を検討していきます。



泥浴びで田畑を荒らすことも多い

【とほ】(\*4) 認知症予防スクリーニングシステム…物忘れを訴える受診者に対して、認知症の疑いがあるかをテストするシステムです。ただし、詳しい診断は、医師による診察や、その他の精密な検査の結果をもとに行われます。